

碁老連 ニュース

★60号

碁老連の目的

ボケ防止のために、老人囲碁同好者の誰もが
 「碁を楽しむ」ことが出来るよう、機会と場所
 を確保するために相模ケシ、圏碁を通じて親睦
 を図り、更には、より良き福祉社会の建設に貢
 献することを趣願とする。

発行日	平成7年1月8日
発行所	八王子の碁を楽しむ老人連合
〒193	八王子市初沢町1434-46
TEL	(0426) 66-3754
発行人	熊崎正一

新年おめでとうございます

旧年中はいろいろと御世話になりありがとうございました。
 御蔭様で、碁老連の業事も滞りなく終了させて頂きましたが、これに備えに
 技術顧問の方々や会員各地の御協力による賜と心から感謝しており、本紙上を
 通じ改めて御礼を申し上げます。

平成7年元旦

八王子の碁を楽しむ老人連合	相縁役		三浦	老
〃	会長	(広報兼任)	熊崎	正一
〃	副会長	(技術顧問会長)	徳永	終七
〃	〃	(研修部長)	永安	浩
〃	〃	(表彰担当)	鈴木	民平
茨川 寿園碁同好会長	〃	(事務担当)	保野	正清
元八王子	〃	(競技委員長)	苗橋	実光
大和田	〃	(経理担当)	八木	毅
中野	〃	(渉外担当)	飯本	勝
長房	〃	(新ヤクル組織)	小西	徹
由井	〃	(総合企画)	奥山	和夫
由木	〃	()	寺本	福寿
由木	〃	()	矢野	俊
石川	〃	()	松田	茂
北野	〃	()	山本	徳美

<◇>

御挨拶

沢山の方々より賀状を頂戴し、誠に有難い次第と感謝しております。
 早速礼状を出すべきではございますが、平ねてよりの申し合わせにより、碁老連の業務のみに専念させて頂き、賀状を始め慶弔関係は病後見舞等日常のお付き合いは右左に見合わせることになっておりますので、失礼ながら本紙上を以て御挨拶させて頂きます。
 悪しうが御了解下さい。

熊崎正一 評

(/)

年頭の所感

戦後50周年を迎えた平成7年は、小生にとって希望久しい希望の年になる
 終焉の年になるか、人生最後の正念場と心得ております。
 ついては、戦争勲章より今日までを追憶し、心に残る次のような事柄について簡
 述懐して見たいと思ひます。

記

- 1、軍事クーデターにより政教を奪取し、天皇名(詐称)による統帥権体制の樹立を臣
 附戦の道を選んだ。
 日本人として誠に遺憾の極みであり、残念というより外に言葉がない。
 従つて、感情的には天皇と国民も戦争責任を追求される謂はないと確信してい
 然しながら、外国に対しては、国家としての責任を免れる事は出来ず、先づ謝罪すべ
 あり、賠償に不善を期すべく心掛け、被災各国の信頼回復に努力してこそ平和国家
 が可能ということになり天の。
 - 2、戦争は「悲惨」の一語に盡きる。
 理窟はどうあれ、人間同士が殺し合うなど、この世の地獄であり、勝つても、負けて
 心の痛手は終生消えることにはない。
 - 3、昭和20年8月15日は、日本民族として最大の屈辱を味つた日であり、又、平和
 とこの国運を繋げた日でもあります。
 - 4、終戦後の50年間は、日本に独立国としての存在感はなく、アメリカによる血政民主
 人権(個人主義)問題及び教省関係(儒教文化の排他)等を主体とした同化政策
 着々と成果を挙げつており、特に若い世代には国家意識が著しく希薄となりつゝあるが、
 受け入れ、正に国家存亡の危機というべき状態です。
 - 5、戦前の日本は、自由で平和な民主主義国家(立憲君主国)として世界の称賛を得て
 即ち、精神文化に関しては、東洋思想が優越している事は、世界が認めており、
 どの栄耀国ぞつたという事です。
 - 6、50年間に亘り、血政思想が普及された日本の現状は、誠に憂うべき危機状態です。
 即ち、非行少年の続出、性関係の乱れ、尊厳主義の蔓延等になり、家庭内のトラ
 oubles、知能犯罪、窃盗事件、銃器による教員事件等々の犯罪多発を根
 人心の荒蕪はその極に達し、收拾困難といわれねばなりません。
 - 7、日本が平和な独立国家として再建する道は、物質文化上進歩することではなく、日本
 佛教、儒教の三教一体となつた東洋思想の実現を目指すべきではないでしょうか。
 然しながら、このことは生々しい問題ではありません。
 過去50年間に亘る教育問題を根本的に改善し、戦国伝統の日本意識を学
 育から開始して行かねばなりません。
 更に、マスコミ文化人及び教育者の全面的な協力が必要とされ、その上時間
 題として小生も30年間位いはかゝるものと覚悟せねばならないのではないかと
 この様な地道な努力によつてのみこの問題が解決される前途があつたということ
 - 8、自由、平等論は、アメリカ合衆国の建國スローガンであり、多民族国家の結集には最も
 的対策策と思われべきが、日本のような家族主義国家にとっては余り必然性があ
 り思われず。
 特に、現実感を専断する限りに於ては。
 - 9、世界平和を達成する道は、各国が旧来の家族主義を中心とした国家体制の再建
 することが義務ではないでしょうか。
- 以上のような小生の独断的感覚を御披露しましたが、御意に召さない場合は思
 はず仰り致しません。

熊崎正一

(2)

福祉団体の先駆者「日本福祉団体協会」に付いてのお知らせ

昨年12月27日、朝日新聞東京本社学芸部の浅井義實氏(園藝担当)にお逢いし菅谷区伏見山に日本福祉団体協会というユニークな団体があり、ボランティア活動を盛ん実施し、着々と業績を挙げているが、御紹介するからお逢いになつたう如何かとのお薦りしました。私にとりましては、絶好の御相談で暮れ連二エース新年号を目論見、よろしく上げましたが、肝解反住所名をお懸せするのを忘れて帰つてしまいました。^{作園}
新年の5日、日本協院で岩本 兼先生にお逢いし結果同協会の新佐が判明しましたので、同日夜、代表者の石田和夫氏に電話し住所、総理をお願ひにも地うず、休会中の6日午前中に御面会が叶えられ、下筆のよう御挨拶を頂戴致しました。

記

1. 設立の趣旨
昭和55年当時、在学費問題に論議が集中しており、「在学費に園藝を取り入れた」最も効果的な対策などの結論の下に福祉団体協会を設立しました。
園藝人口1万人ともいわれている愛好者の数に、アゲエ了相継者は、近年後の生者と、身にかかっている趣味を、暇つぶしばかりでなく、何か社会のために役立てたいという、確もお持ちです。
対象に在る障害者施設や老人ホームなどの皆人の原かにも園藝を知っている人は「折らたい」「相手が欲しい」という要望がある筈です。
そこで求められている相手、つまり、ボランティア構士が施設を訪問し、対面対話をするのが「日本福祉団体協会」の役目です。 協会は、兼こみ反がう地道な行動とやまに交えらるボランティア団体であります。

2. ボランティア構士について
アゲエ了有役者の構士をもつた後者の集まりで、一般の退職者を始め、会社改選後と670名の方々が主力になつて構成されており、ボランティア構士の称号は、一定の研修とボランティア毎堀状態を授けられた者に与えられます。現在、構士数は約100名

3. 活動状況
東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県が主力地域で、順次拡大中です。
現在、月別の地域活動施設など40数ヶ所に及んでおり、現在までの本報回数は10回以上を数えてあります。

4. 申込み方法
ボランティア構士の派遣要請の申込み先は次の通りです。
(1) 東京三菱銀行(3235-1161)、(2) 地元社会福祉協議会、(3) 直接、協会事務局

5. 研修会
(1)、福祉団体研修コーナー
JR飯田橋ゆきの東京都社会福祉センター7階で、毎月1・15日主日午後6時
会費をまじえた福祉団体研修コーナーを開いてあります。
(2)、ボランティア構士研修
毎月、月曜日に協会本部で、ボランティア構士4名を11順次人選し、最新顧問元本
岩本 兼先生の御指導を受けています。

以上

追記 同協会では、会費(正会費・賛助会費)に在りた方が在学時求めていまふ。
お申込み、お固い会費は不記来て
〒150 東京都渋谷区伏見山3-1-1 TEL114-801
日本福祉団体協会 (電03-3464-4774)

朝日新聞社への提案に関する件

昨年12月27日朝日新聞東京本社において、田辺 功編集委員殿と学芸部の
浅井義典殿(編集担当)との三者会議において次のような提案につき御検討頂戴した。
尚、両氏には、基連連ニュースオ60号(1月8日発行)に掲載したいので、出来れば年内の
御時間を作って頂けないかと御願いました所、27日に決めて頂いたように、御事務中を
誠に申訳ない次第と心から御詫言え御礼を申し上げます。

記

1. 提案の趣旨

高齢化社会を迎えるに当たり、毎年何十万人という偉大な退職する囲碁愛好者が暴増して参りお
然しなば、各都市共60オ以上の統合的の老人囲碁団体は余り結成されていないように
聞え及んでおりまして、早急に各都市別の老人囲碁団体を樹立し、現存のアマチュア全国
大会(予選戦、本因坊戦)のような地域別代表(クラス別に5人位)による全国老人囲碁
大会(団体戦のみ)を朝日新聞社主催、日本棋院共催、統理府又は厚生省後援のよ
うな形式で、朝日新聞社としては社会福祉事業(ボケ防止)の一端として集り出して頂戴
したいと申す。

2. 組織の確立

(1) 全国各都市に基連連を設立する

60オ以上の囲碁愛好者より設立希望者を募り、審査の上適任者を指名し、全国的
な基連連設立を要請する。

(2) 地区別の囲碁同好会(仮名)の設立

基連連の設立が完了した後、地区別に囲碁同好会を開会する。

(3) 都道府県単位に基連連協議会を設立する

各都市の基連連会長会議により県庁所在地の基連連会長と県基連連協議会を設
立する。

3. 留意方針

ボケ防止のために、老人囲碁同好者の確立が「基を築く」ことが出来るよう機会と場
を確保するため相俟つて、囲碁を通じて親睦を図り、更にはより良き福祉社会の建
立に貢献することを念願とする。

以上の目的達成のための緊急課題は、地区老人会に囲碁部の開設を促すための確
運動を、基連連及び「囲碁同好会」が積極的に開始することである。

4. 事業活動(基連連の場合を例示)

(1) 地区別の囲碁同好会関係

イ、毎月、オ2、オ3、オ4日曜日を定例会日とする。

ロ、ボケ防止のための啓蒙囲碁地区大会の開催

同好会主催、基連連共催、入会3年、入会3年教育委員会、日本棋院後援によ
り年1回開催する。

参加資格は、会員、非会員は拘束せず、地区外に在住する60オ以上で10級
以上の囲碁愛好者全員を対象とする。

ハ、地区タイトル戦を个記により行う。

(イ)、名人戦1年2回(3月～6月、9月～12月)リーグ戦(総当り1～3回)方式により行う。

(ロ)、宝座戦1年2回(1月、7月)トーナメント(1回戦のみ敗者復活)方式により行う。

(ハ)、末節戦1年2回(2月、8月)トーナメント(敗者復活を含む)方式により行う。

(2) 基連連関係

イ、ボケ防止のための啓蒙囲碁入会者奨励大会の開催

基連連主催、入会3年、入会3年教育委員会、日本棋院の後援により年1回開催する

(4)

参加資格は、地区大会の成績により推薦された者。

ロ、基元連用基本会

全会員による親善大会(3クラス別)を年1回開催する。

ハ、団体対抗戦

各地区同好会下、初級より6級までの各1名計6名地区代表チームとして選

全同好会による総当りリーグ戦を毎月開催する。

勝率の最高得点チームを優勝とする。

ニ、基元連タイトル争奪戦

地区タイトル保持者(各2名宛計6名)により年1回開催し、入選手3人、15

座、入選手3人を決定する。

ホ、基元連研修協会の開催

有級者40名、級位者40名計80名の定員制にて年2回(4月~9月、10月

毎月、土2.土3.土4土曜日(午後1時~5時)に研修会を行う

参加資格は、入選手年任位の10級より5級までの同基連保持者で、技師指導

(有級者関係2名、級位者関係2名)が毎回指導を行う。

尚、各研修会用基本会(4クラス別)を回期最終日にを行う。

ヘ、教員用基本会(冠大会)

市内の企業主催、基元連推薦により毎年9月に開催する。

参加資格は、地区大会の1次予選、入選手大会の2次予選を終了、成

績約100名を確保した決勝大会を行う。

ト、その他

冠同好会や小中学校のクラブ活動に対する指導員の派遣等、規定上は行

なっておりませんが、力不足のため実施していません。

5. 級・級位の認定

現在行われているアマテス全国大会の特別招待者在10級格とし、地域代表者

9級格として認定し、これを基準として基元連が決定する。

基元連では8級格以上の方は指導員として経過しており、基元連主催の大会基準に

加出来ない事となっております。

尚、非会員の方が大会参加の場合は、本人申請の級・級位を調査し本人の解

説にて認定することとなっております。

これは大会運営に因る便宜上の措置であって、当然非公式なものとする。

以上のよう提案に対し、幾井氏の御意見は、"賛否は申し上げられないが、個人的感

想的にはいさ"社の現状では非常に難しい"と云う事でした。

田辺氏の御意見は、"入選手だけでなく、他の都市にも基元連のような組織を作り

たい御意見を集約した上で、具体的な提案をされてはどうか"御向人英、現状上

については無理であるとの御意向を伺いました。

最もな御意見であり、無理押しをする意味は先程なく、今回も、御意見採

集の申し上げが花水までから、改めて、研究課題として優先するということに

熊崎正

八王子の墓を築くお老人連合、会員名簿

平成7年1月現在

(平成元年11月12日設立)

集計表

団体名	会長	住所	電話	会員数
八王子の墓を築くお老人連合	熊崎 正一	初栄所	1434-46	66 3754
浅川寺園墓同好会	保原野 正清	元野所	3-2581	64 0906 46
元金子	西橋 実	下地所	1162	57 6753 33
中野	阪本 勝	水元台	2-33-6	91 4094 41
大和田	入木 義光	大和田所	5-34-3-301	42 4093 29
石川	松田 礼若	久保山所	1-9-3-303	92 3973 21
由井	奥山 和英	小北所	807-1	26 3618 22
由木中央	矢田部 俊幸	南大栄	4-12-5-306	75 7522 28
由木東	牙本 福寿	松ヶ谷	294-106	75 6966 16
北野	山本 徳美	北野台	2-31-9	35 4570 28
長房	小西 徹	長房町	230-17	63 7684 36
計	11名			300名

墓老連役員名簿

平成7年1月現在

役職名	担当業務	氏名	所属	役職名	氏名	所属
相談役		三浦 浩	墓老連	常任理事	奥村 章	浅川
会長	弘毅兼任	熊崎 正一	"	"	高橋 重二	元野
副会長	表彰関係	鈴木 民平	"	"	豊田 弘伯	大和田
"	被褥酒会会長	徳永 終七郎	"	"	嶋根 昭	由木中央
"	研修部長	永安 若二	"	"	阿部 博	由井
"	事務局長	保原野 正清	浅川	"	市川 隆一	長房
"	競技委員長	西橋 実	元金子	"	田辺 寛	由木東
"	経理部長	入木 義光	大和田	"	戸野 敦光	石川
"	秀外関係	阪本 勝	中野	"	植藤 正	北野
"	新井ヶ元組織	小西 徹	長房	"	布熊 馨	中野
"	総合企画	奥山 和英	由井	"	安藤 久雄	大和田
"	"	牙本 福寿	由木東			
"	"	松田 礼若	石川	監事	高瀬 兼一	浅川
"	"	矢田部 俊幸	由木中央	"	平 辰雄	浅川
"	"	山本 徳美	北野			
		計 15名			計 13名	

技術顧問会名簿

平成7年1月現在

氏名	生年	住 所	電 話	所 属	備考
徳永 終七郎	大12年	子安町 2-20-18	45 7687	基老連	会長
荒井 良夫	昭23	小比企町 1053-28	75 5182	"	幹事
東 善代美	" 3 "	川口町 1540-74	54 2653	"	
永安 浩二	" 9 "	元住子町 3-2153-222	65 1386	"	
山果 永知	" 14 "	学津木町 1006-2	42 9170	"	
名取 豊彦	" 16 "	元住子町 3-2050-150	66 5020	"	
長崎 洋三	" 16 "	鶴ヶ丘 3-8-102	64 8327	"	
川中 章	" 17 "	南大沢 3-2-3-501	76 0275	"	
計8名					

基老連研修部役員名簿

平成7年1月現在

職名	氏名	所 属	電 話	職名	氏名	所 属	電 話
研修部長	永安 浩二	基老連	65 1386	研修委員	大本木 茂	中野	91 4457
指導員	市川 日星	茨川	63 3701	"	船橋 良夫	田木東	75 1767
"	小西 徹	豊原	63 7684	"	" (会嘱)	鉢巻	
事務長	嶋田 高明	茨川	64 3351	"	谷間 孝之	茨川	65 0524
事務代理	橋本 一	元住子	51 3506	"	西山 孝二	西住子	51 7402
部 員	植松 四郎	北野	25 8800	"	柳谷 輝男	北野	91 3336
"	石橋 久徳男	茨川	63 5260	"	石田 利男	大和田	42 1738
"	高瀬 栄一	茨川	64 1535	"	佐藤 吾男	北野	44 2807
"	中島 教彦	茨川	65 3160	"	吉田 国男	田井	37 3166
				"	松井 豊	豊原	63 1047
計9名				計9名			

「お詫言」

新年初々、某会長より、基老連ニューズ新年号に役員世帯役の方達のお名前を掲載して貰えないかの御要望を頂きました。

その理由として、この方達は全てボランティア活動であり、80才以上の高齢者や特に技術指導員には60才未満の方ばかりも含まれており、新特休御志には感謝しております。

それと同時に、会員の中には、基老連の役員がどんな活動をしているのか、具体的に知りたいとの意向も伺えますので、是非採り上げて頂きたいとの事でした。

全く同感です。新年号に間に合わせるため、発行日を少々延期しても御期待に添えないと御約束しました。

以上のような事ですので、悪しからず御了承下さい。

(熊 崎 正 一)

次2回基老連タイトル筆筆戦の御案内

日 時 平成7年1月29日午前9時
 場所 総合福祉センター (東浅川町551-1, 電67-1331)
 主催 浅川寿園基同好会 (会長 保原野正清, 〒193 元八王子町3-2581)
 後援 八王子の基老兼江老人連合 (基老連)
 協賛 財団法人日本棋院, NTT八王子支店
 参加資格 500円 (併当代会金を含む)
 タイトル 八王子名人 (財団法人杯), 八王子王座 (NTT八王子支店杯), 八王子天狗 (基老連杯)
 参加資格 地区タイトル保持者 (下記の通り)

地区タイトル保持者

地区別	期別	名 人		千 原		天 狗	
		姓 名	級	姓 名	級	姓 名	級
浅 川	前	嶋 田 高 朗	4	小 林 寛 晃	5	梅 田 隆 二	部
	後	栗 田 敏 次	5	谷 田 修 正	2	小 林 雷 男	
元八王子	前	岡 村 吾 人	5	延 平 和 允	初	堀 原 正	
	後	大 塚 夏 三	5	青 水 勇	4	青 水 一 郎	
中 野	前	小 滝 久 幸	4	藤 沢 昇	2	加 藤 道 男	
	後	大 本 木 茂	6	佐 藤 真 人	2	石 山 徳 義	
大和田 (島根川)	前	佐 藤 文 典	4	根 本 忠 彰	4	八 木 義 光	
	後	須 井 定 衛	4	雨 宮 久 徳	初	石 田 利 雄	
由 井	前	藤 井 隼 初	初	吉 田 国 男	3	福 田 喬	
	後	片 岡 健 一 郎	初	阿 部 博	2	片 山 源 一 郎	
田 木 (谷田木)	前	菅 野 通 利	2	佐 々 木 俊 郎	3	内 山 隆 允	
	後	高 橋 之 人	4	越 真 幸	2	玉 看 新	
北 野	前	小 本 淳 三	3	水 野 豊 夫	3	小 本 林	
	後	横 藤 正	5	山 本 徳 美	2	福 松 四 郎	
長 房	前	市 川 隆 一	3	石 井 正 之	5	佐 藤 要 吉	
	後	平 山 智 之	6	小 川 勇	初	園 戸 一 郎	

次5回木ヶ沢防止のための格闘会基老連浅川水会への御案内

日 時 平成7年2月26日午前9時
 場所 総合福祉センター (東浅川町551-1, 電67-1331)
 主催 浅川寿園基同好会 (会長 保原野正清, 〒193 元八王子町3-2581)
 後援 八王子の基老兼江老人連合 (基老連)
 参加資格 八王子市, 八王子市教習会, 財団法人日本棋院
 参加資格 浅川幸祐所と鎌原祐所管内及びバメジの会, 利田所, 狭間所, 並里所,
 元八王子町3丁目に在住している60才以上で10級以上の方。
 参加費 600円 (併当代会金を含む)
 競技方法 例年通り5クラス別に行い, 各クラス共3位までの入賞者に賞状を授与する。
 特 典 成績により下級大会に推薦される。
 注意事項 8月27日開催の八王子大会
 自家用車での御参加の方は, 後南会館 (東浅川町120, 電61-2432) の基老連
 臨時駐車場を御利用下さい。
 尚, センターの駐車場は御利用禁止となっておりますので, 強行駐車はこれら方は
 御参加を敬請することになっておりますので御注意下さい。
 (子)